「こども司書養成講座」に参加して

板柳北小学校　四年　高木　咲宇

「こども司書養成講座」に参加して、一番楽しかったことは、第六回講座の「ポップを作ろう」です。始めてのポップ作りでドキドキワクワクしていたけれど、みんなと楽しくできたし、自分の中でとても上手にできたと思っています。

難しかったことは、第二回講座の「本の分類・レファレンスについて学ぼう」です。急に知らない言葉が出てきたりして難しかったけれど、と中でやったゲームが面白かったので、アンケートで「楽しかった」に入れました。

一番勉強になったのは、第七回講座の「読み聞かせのテクニックを学ぼう」です。読み聞かせをする時は登場人物の少ない物語を選ぶと良いということや、カバーは外しておくことなど色々なことを教えていただきました。

それで、一番勉強になったと思いました。

最後は、毎回の講座でやっていた「家読リレー」の感想です。たくさんの本を読んで心に残った本は二さつあります。

一さつ目は「はちうえはぼくにまかせて」です。家でも植物を育てているので、この本に出てきたように、ノビノビにならないようにしようと思いました。

二さつ目は「なきすぎてはいけない」という本です。その本は悲しい話でした。おじいさんが死んでしまったのを知らないのはかわいそうだけれど、死んでしまったのを知るのはもっとかわいそうでした。最後の方に、命のバトンをもらった、と書いてあって、私も死んでしまったひいおばあちゃんから命のバトンをもらったのかな、と思いました。それを考えたら、わたしを産んでくれた人と育ててくれた人、また、ママとパパを産んでくれた人と育てくれた人にかんしゃをしなきゃいけないんだな、と思いました。